

こども未来課通信 No. 24

2023. 8. 31 発行:長崎県こども未来課



～幼児教育アドバイザーが訪問しています！～

7月から幼児教育アドバイザーが各園の訪問をしております。初めての訪問先は、島原市のこひつじ保育園さんでした。その様子をお伝えします。

<保育参観>

今回は、幼児教育センター4名で参観しました。テーマは「自由保育の取り入れ方」です。絵本の読み聞かせから始まり、水遊びを主に見させていただきました。道具やおもちゃを使って、自分のしたい遊びを考え、元気いっぱい活動する子どもたち。自然と近づいてきてお話をするなど、私たちに対しても優しく接してくれました。園の柔らかな雰囲気が伝わってきました。



<園内研修>

午後からは、園の先生方と協議会を行います。記録した写真を提示しながら、アドバイザーからのフィードバックをもとに、保育を振り返りました。



「本の選定がよかったですね。」

「おもちゃの貸し借りを一緒にする場面で口を出しすぎない、すばらしい声掛けがありました。」

「子どもは同じことを繰り返し体験することで、法則を見つけ、知識になっている。自由保育の意味はそこにあります。」

先生方からの質問に答える時間もあり、一緒に考えながら、リラックスした雰囲気で進みました。

参加した先生方の声

- ・実際の保育の場面(写真)を見ながら、アドバイスをもらうことができ、わかりやすかったです。
- ・色々な声掛けやアドバイスをもらい気付かされる面が沢山ありました。
- ・少しずつできることからはじめ、子どもの主体性を大切にしていきたいと思いました。

今後も保育についてのアドバイスや園内研修など保育の質の更なる向上に向けてアドバイザーを御活用ください。まずは、ホームページから依頼書をダウンロードしてお申し込みください。

→ 検索 長崎県こども未来課 幼児教育センター



(幼児教育センター直通 095-895-2686)

～研修会でお世話になりました！～



8月10日は東彼杵町で研修会がありました。認定こども園や放課後児童クラブの先生方が出席してくださいました。テーマは「不適切な保育について考えよう」です。不適切な保育とはどのようなことかに気付き、子どもの人権を大切にしたい保育をやっていこうという気持ちを改めてもつことができました。

○参加者の感想

日々、保育をする中で「これっていいのかな？」「こういう時どうしたらいいのかな」等、考えることがよくあるので、今回、他の園の先生とも意見を交換することができて、とてもいい時間だった。また、自分がやってきた保育を反省したり、改善点を見つけたりすることができた。また、このような機会があれば、ぜひ参加したい。

東彼杵町で保育士対象の全体研修が行われたことは大変良かったと思う。保育士同士の交流機会にもなるので、今後ともぜひ継続、発展することを期待する。研修テーマも本園にとってはタイムリーな内容であり、大変ありがたかった。

皆さんが真剣に保育について話されている姿を見て、「東彼杵町の保育はとても素晴らしい人たちが行っているんだ」と思った。今回、グループワークをして、園やクラブを超えて話し合うことの大切さ、意識の持ち方、感じ方の擦り合わせなど、本当に実りある研修になった。



不適切保育のボーダーラインが保育士によって異なり、難しいなと感じていたが「身内がされて心が痛むことは不適切保育になる」と知り、すごく納得できた。また、担当するクラスがまとまらないことで、自分自身の評価につながることを気にしてしまい、子ども主体でなく自分自身のための保育になってしまう危険性があることも学んだ。

保育に対しての悩みや思いを他の園の方々と共有でき、「自分だけが悩んでいるのではない」と改めて気付くことができた。普段の保育の中で自分の言動を見直す良い機会となった。これから、セルフチェックリストを見ながら、「今の言動は正しかったか」確認をしながら、子ども一人一人と丁寧に関わっていきたいと思う。

(文責：こども未来課 高田 敦)

幼児教育センターより 「幼児期の運動遊び」

東京学芸大学教育学部教職大学院教授の吉田伊津美先生の講義から、幼児期の運動遊びの大切さを改めて感じました。運動能力の発達には伸びる時期があり、体力は主に思春期・青年期、コントロール能力は主に幼児期・児童期に発達します。その時期にあった運動(遊び)をすることが大切です。だから幼児期は特定の運動をさせることより、多様な動きを経験させることが必要なのです。子ども自身がやりたいと思って、満足するまで繰り返し、自由に遊び方を考えていくことを保障してあげたいものです。子どもがやりたくなる環境を工夫したり、室内遊びばかりしている子どもに声をかけたりすることも必要です。「幼児期運動指針ガイドブック」と検索してみてください。具体的な運動遊びの例などが載っています。「からだのねっこ」づくりをお願いします。(副センター長 室野)